

開館40周年記念特別展
「太陽の塔からみんなくへ」
70年万博収集資料

1968年から1969年にかけて「日本万国博覧会世界民族資料調査収集団」が世界の諸民族の仮面、彫像、生活用品を収集しました。収集活動にかかわる書簡や写真とあわせてコレクションの生い立ちを紹介します。これらの資料は、70年大阪万博で太陽の塔(テーマ館)の地下に展示され、現在みんなくへの貴重なコレクションとなっています。



祖先像
(ニューヘブリデス諸島、現バヌアツ)

会期 5月29日(火)まで
会場 特別展示館

EMフォーラム
「未来へ集まる、未来へ送る」
自分のところに浮かんだ仮面を描いて、みんなで21世紀の「仮面展示」を完成させましょう。仮面に万博の思い出や未来へのメッセージを書き込んでいただけます。

日時 特別展会期中
会場 特別展示館2階特設コーナー
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
■関連イベント
ギャラリートーク
会場 特別展示館

日時 5月5日(土・祝)11時～11時30分
講師 鈴木紀(本館准教授)
日時 5月12日(土)11時～11時30分
講師 三島禎子(本館准教授)
日時 5月19日(土)11時～11時30分
講師 新免光比呂(本館准教授)
日時 5月26日(土)11時～11時30分
講師 南真木人(本館准教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

企画展

「アーミッシュ・キルトを訪ねて」そして暮らして世界に生きる人びと」
無地の服を着て馬車を駆る北米のキリスト教再洗礼派アーミッシュが布の端切れを生かしてつくるキルトは、その鮮やかな色合いや細やかなステッチで人びとを惹きつけています。2011年より収集してきたみんなくコレクションを素材として、キルトに織りこめ



裁縫セット

た日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流をたどりま。
会期 6月21日(木)～9月18日(火)
会場 本館企画展示場
みんなく映画会・第41回ワールドシネマ
「少女は自転車にのって」
明朗活発な10歳の少女ワジタの日常生活や願いをとおして、サウジアラビアにおける女性の状況について考えます。
日時 6月9日(土)13時30分～16時(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券
※入場整理券を当日11時から本館2階講堂前に配布
音楽の祭日2018 in みんなく
1982年にフランスで、夏至の日にみんなくで音楽を楽しむ音楽の祭典「がはじまりました。みんなくでも、世界のさまざまな楽器を使って、音楽の祭日」を祝います。
日時 6月17日(日)10時30分～16時30分(10時開場)※予定
会場 本館エントランスホール等
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
お問い合わせ先
企画課「音楽の祭日」担当
06-6878-8210
(土日祝を除く9時～16時)

対象 大人から子供まで
(未就学児保護者同伴)
※申込不要、参加無料

●国際博物館の日記念事業
国際博物館の日を記念して、5月20日(日)にご来館いただいた方から先着100名様にみんなくオリジナルメモ帳をプレゼントいたします。

●みんなく無料シャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」ごみんなくへの直通送迎バスを特別展「太陽の塔からみんなくへ」70年万博収集資料」の会期中に運行します。

運行日 5月29日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
平日、4月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日・祝)、30日(月・振休)

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

大阪モノレール
万博記念公園駅発

時	10	11	12	13	14	15	16	17
万博記念公園駅 →国立民族学博物館	06	06	06	16	26	26		

国立民族学博物館発

時	10	11	12	13	14	15	16	17
国立民族学博物館 →万博記念公園駅	50	20	30	00	10	10	30	00

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなくゼミナール

日時 5月19日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第480回
聖都エルサレム



エルサレム旧市街の聖墳墓教会
キリスト教最重要の聖地

講師 菅瀬晶子(本館准教授)
一神教共通の聖地エルサレム。なぜこの街が聖都と呼ばれ、なぜその帰属が問題となるのか、パレスチナ・イスラエル双方の視点、さらにはアメリカで力を持つキリスト教右派の視点と比較しつつ、お話しします。

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話す

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなくの展示資料」について分かりやすくお話しします。

5月6日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば
専門家が専門外に手を伸ばすとき
アフガニスタンから来た偶像
話者 吉岡乾(本館助教)
5月13日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば
1960年代のアフリカ
話者 三島禎子(本館准教授)
5月20日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば
自由への渴望と抑圧
1960年代の東ヨーロッパ
話者 新免光比呂(本館准教授)

5月27日(日)14時30分～15時 本館第3セミナー室
失われつつあるものを、かき集めた
日本資料の紹介
話者 卯田宗平(本館准教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
ただし、27日(日)は展示観覧券不要
※全て特別展「太陽の塔からみんなくへ」70年万博
収集資料に関連した内容で開催します。

■福岡 まどか、福岡 正太 編著
『東南アジアのポピュラーカルチャー
——アイデンティティ・国家・グローバル化』
スタイルノート 4,000円(税別)

東南アジアの人々が文化に関わる多様な価値観とどのように向き合っているのか、そうした文化の中で自らをどのように位置づけているのか、という問題を人類学・地域研究の立場から考察した論文集。東南アジア文化の現状、興味深い現象を多彩な執筆者が読みやすく紹介している。



■小野 林太郎、長津 一史、印東 道子 編
『海民の移動誌
——西太平洋のネットワーク社会』
昭和堂 4,000円(税別)

先史時代から、海を生活の舞台とした集団＝海民。かれらは、現代に到るまで広大な海の上にネットワークを形成し、移動、交流を続けてきた。しかし、その全体像は、その広大さもある、判然とはしていない。本書は、彼ら「海民」の移動と交流の実像を、考古学と人類学の立場から明らかにする。



刊行物紹介

■川瀬 慈 著
『ストリートの精霊たち』
世界思想社 1,900円(税別)

エチオピア北部の都市ゴンダールのストリート。そこは喜怒哀楽が交錯する奥深い空間である。本書は、現代アフリカの都市のストリートに息づく人々の夢や希望、生きざまを、著者と彼ら/彼女たちとの交流を軸に、様々な語り口で描きだす。



友の会

友の会講演会

会員無料(会員証提示)、一般500円

第478回友の会講演会
カフィール・カラ遺跡とゾロアスター教
発掘調査で出土した木彫り板絵から読み解く

講師 寺村裕史(本館准教授)
日時 6月2日(土)13時30分～14時40分
会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)

カフィール・カラ遺跡は、中央アジアのシルクロード都市サマルカンド(ウズベキスタン共和国)から南東方向に30キロメートルほど離れた場所に立地しています。遺跡から発掘された木彫り板絵には、獅子に乗った姿の女神ナナ、捧げものや燭台をもつ人、琵琶・竖琴・角笛の奏者などが彫り込まれています。女神ナナは、ゾロアスター教の中心的な神であったと考えられており、本講演では板絵の図像について遺跡の性格と絡めながら紹介いたします。
※講演会終了後、3次元レーザースキャナーを使った3D計測を実際におこないます(40分)。

第92回民族学研修の旅関連
ヒンドゥー教祭祀の読み解き方
講師 三尾稔(本館教授)

第123回東京講演会
日時 6月23日(土)13時30分～14時40分
会場 モンベル渋谷店5F(サロン)
(申込先着順・定員60名)

第479回友の会講演会
日時 7月7日(土)13時30分～14時40分
会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)

第92回民族学研修の旅
融合と共存の北西インドをゆく
女神信仰とインド叙事詩の祭祀の期間に訪ねる

講師 三尾稔(本館教授)
日程 10月13日(土)～22日(月) [10日間]

第79回体験セミナー
富士山 信仰の世界

講師 秋道智彌(山梨県立富士山世界遺産センター所長、本館名誉教授)
日程 8月26日(日)～27日(月)